

'17.5.-2

◎レオパレス21、電子記録債権を活用

レオパレス21は、フィンテックベンチャーのTranzaxグループと業務提携し、納入業者（サプライヤー）の資金繰りを支援する「サプライチェーン・ファイナンス」の導入を決めた。7月をメドに導入する。サプライヤーが持っている売掛債権を電子記録債権化して、Tranzaxが設立した特別目的会社（SPC）へ譲渡することで、支払い期日前の資金化を可能にする。不動産・建設業界では初の導入となる。現状入金までに70日ほどかかっているが、同スキーム導入により、最短2日で現金化できるようになる。また今後は、発注書を電子記録債権化することで、発注段階で金融機関からの資金供給が可能となるPOファイナンスの展開も視野に入れる。